

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるアカシオ サングイネアが最大0.04細胞/ml確認されました。またプロロセントラム シグモイデスが最大0.01細胞/ml確認されました。

また麻痺性貝毒の原因種であるプランクトンは確認されませんでした。

本日の調査においては、全調査地点にてケイ藻類が多く確認されました。他県の観察結果によるとケイ藻類の増加が見られた後に、有害赤潮プランクトンの増殖が確認された例もありますので、注意をお願いします。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	アカシオ サングイネア	プロロセントラム シグモイデス
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)		
弘浦② (別図①) 採水時間 9:12 透明度 1.0 m	10.0	20.1	34.4	6.6	0	0
青瀬山 (別図③) 採水時間 9:51 透明度 1.2 m	10.0	20.2	34.4	6.7	0	0
一切田 (別図⑪) 採水時間 9:52 透明度 1.2 m	-	-	-	-	0.04	0
大島中央① (別図⑤) 採水時間 10:04 透明度 2.2 m	2.0	20.2	33.9	6.2	0	0.01
藻津① (別図⑨) 採水時間 10:12 透明度 12. m	2.0	20.3	33.5	6.9	0.02	0
片島 (別図⑦) 採水時間 10:22 透明度 1.6 m	3.0	20.2	34.0	6.3	0.01	0
田ノ浦 (別図⑧) 採水時間 10:29 透明度 1.0 m	5.0	20.2	34.2	6.3	0	0

※調査地点：一切田の水温、塩分等については、データ不良のため未記載となっております。